

明 水 2
號 5719
卷 1



小學讀本卷五



第一回

田中芳男

閱

田中義廉

編輯

藤田氏蔵書

凡ノ天地間ニ現ハル、物體ハ、森羅萬象ニシテ
其數際限ナシト雖モ之ヲ大別シテ有機體、無機
體ノ二種トス、而シテ之ヲ講究スル學ヲ、博物學
ト謂フ
有機體トハ、猶活物ト謂フガ如シ、皆生活運營ノ
力ヲ具フルモノニシテ、動物植物ノ二類ナリ

小學讀本卷五
第一回

此類人、自然造化力ノ外、又自己ノ營養ヲ以テ、生
育長茂シ、且種子アリテ、生々相續キ、永世絶エサ
ルモノナリ

無機體トハ、生機活力無クシテ、生シタルモノヲ
謂フ、即金、石、水、土、空氣ノ類ナリ

此類ハ、同質同性ノ物外面ヨリ附著凝集シテ、次
第ニ増大ヲナシ、榮枯死生ノ變アルコトナシ

第二回

動物ト謂フハ、人、獸、鳥、魚、介、蟲ノ總稱ニシテ、其類
凡ソ三十萬ニ下ラズ、皆種々ノ器械筋、骨、皮、肉、臟、腑ノ類ヲ

具ヘ、知覺及ビ運動ノ二
活機ヲ稟有シ、呼吸、飲食

シテ、身體ヲ營養ス

植物ト謂フハ、草、木、苔、菌

等ノ總稱ニシテ、其數八

萬餘種アリ、皆水ト空氣

ヲ吸收シテ、枝葉、莖、幹ヲ

長育ス、然レトモ、動物ノ

如ク自ラ運動、知覺スルノ活機ナシ

第三回



動物圖

植物圖

動物ヲ分チテ、有脊類、無脊類ノ二綱トス
 有脊類トハ、人、獸、鳥、魚ノ如キ、脊骨アルモノヲ謂
 ヒ、無脊類トハ、介、蟲ノ如キ、脊骨ナキモノヲ謂フ
 ナリ
 總テ動物ハ、其具足セル器械ノ精粗、多少ト、機能
 ノ銳敏、遲鈍トニ從テ、自ラ階級ヲ殊ニス、蓋シ器
 械ノ全備シ、機能自在ニシテ、精神最モ活潑ナル
 ハ、人類ナリ、其次ヲ獸類トス、此類ハ器械機能、殆
 ト人類ニ似テ、稍十全ナラザルノミ、其之ニ次ク
 モノヲ鳥類トス、之ヲ獸類ニ比スレバ、諸器械、稍

減少シテ、機能モ亦從テ自在ナラバ、魚、介、昆蟲ノ
 類ニ至リテハ、器械愈不足シテ、機能モ亦甚ク鈍
 シ、其階級最モ下リテ、器械モ亦極メテ、少キモノ
 ハ、植蟲ナリ、毎ニ他物ニ寄托シテ、僅ニ生長、活動
 スルヲト、殆ト植物ノ如シ、故ニ植蟲ト名シク、珊
 瑚ノ類是ナリ、因ニ其類ノ機能、亦極メテ、少キ
 人畜ハ、口鼻ヨリ、大氣ヲ吸ヒテ、血液ヲ清鮮ニナ
 シ、又口ヨリ飲食シテ、其身體ヲ滋養、長育ス、魚類
 ノ如キモ、亦口ニテ、水ヲ吞吐シ、水中ニ含ム
 ル空氣ヲ引攝シ、或ハ水面ニ浮ミテ、唼咽シ、直ニ

大氣ヲ吸入シテ、其身ヲ養フ

第四回

有脊類ノ第一種ヲ獸類トス、○獸類ハ皆形體ヲ具ヘテ、兒ヲ生ズル、故ニ胎生ト謂フ、温血ニシテ、其兒ニ哺乳ス、因テ又哺乳獸ト謂フ、多クハ皮上ニ毛髮彪生シ、四肢アリテ運動、搔抓自在ナリ、人類ハ哺乳獸ノ最高階ナルモノナリ、體軀ノ構成、器械ノ裝置、總テ精巧全備ニシテ、機能自在ナラザルナク、其知覺運動モ、甚ク靈妙ヲ極ム、加之精神アリテ、能ク萬事ヲ、宰判スルノ智力ヲ備ス、

而シテ此智力ノ作用、甚ク多シ、聲色ニ感ジ、痛痒ヲ覺ル、以テ感覺アリ、善惡ヲ辨ヘ、是非ヲ審ニスルノ辨識アリ、舊故ヲ記得スルノ記憶アリ、物理ヲ講究シ、事故ヲ判決スルノ智慮アリ、又能ク己ヲ護リ、人ヲ愛シ、惡ヲ去リ、善ニ遷ルノ徳アリテ、其心力ヲ保ヒ、是萬物ノ最上階ニ位スル所以ナリ、且夫ル美味、膏粱ノ食ハ、其口腹ヲ養フベク、布帛、綵緞ノ服ハ、其軀軀ヲ温ムヘク、春ハ好鳥ノ花間ニ鳴ルアリ、夏ハ涼風ノ緑陰ニ舞フアリ、秋夜ハ月ハ、銀色空ニ凝リ、冬日ノ雪ハ、水晶地ニ碎

ク、凡ソ千勝萬景、吾人ノ資リテ、神思ヲ爽快シ、耳
目ヲ娛樂スルモノハ、皆造化ノ賜ナリ、嗚呼天地
間ニ生ヲ受ケテ、人類タルハ、無極ノ歡喜ナラズ
ヤ、故ニ吾人能ク、其身ヲ養保シテ、健康ナラシム、
永ク造化ノ賜ヲ受クベシ、然レドモ無爲、逸居シ
テ、徒ニ其賜ヲ受ク可ラズ、宜ク智慮ヲ研キテ、天
地ノ化育ヲ贊クルコトヲ、圖ルベシ、之ヲ人類ノ
當ニ務ムベキ道ナリトス

第五回

人ノ體軀ハ、猶家屋ノ結構ニ於クルガ如ク、其柱

壁、桁、梁等相應接シテ、之ヲ維持スルヲ肝要トス、
若シ其結構脆薄ニ由リ、或ハ又一部ヲ損傷スル
コトアルヤハ、之ガ爲ニ、全部傾斜シテ、遂ニ頽廢
ニ至ルベシ、人身モ亦内外ノ器械、纒ニ損傷スル
所アレバ、他部應接ノ稱勻ヲ失ヒテ、保攝ノ力ヲ
廢ス、然レドモ、人工ノ家屋ハ、死物ナリ、遷動ス
ルコト能ハズ、人ノ體軀ハ、之ト異ナリテ、能ク自
由ナル運動ヲ爲シ、隨意ノ位置ニ、遷移スルコト
ヲ得ベシ、其結構ハ、充分強固ニシテ、百般ノ操作
ヲナスモ、損傷スルコトナシ、善ク之ヲ保攝シテ、

五

健康ナルトモハ、永ク之ヲ維持スルヲ得ベシ、



骨格圖
體軀ノ結構ハ、
骨ヲ第一トシ、
筋纖維、脂肪、皮
膚等互ニ依附

シテ其結構ヲ維持ス

圖ノ臟内



- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| (一) 肺臟 | (二) 肝臟 | (三) 胃腸 | (四) 心臟 |
| (五) 膽 | (六) 腸 | (七) 脾臟 | (八) 腎 |

内部ノ器械ハ、肺、心、胃、腸ヲ首トシテ、肝、脾、腎等アリ、肺ハ空氣ヲ呼吸シ、心ハ血液ヲ調理シ、胃腸ハ飲食ヲ消化シテ、體軀ヲ養育ス、皆人身ノ要器ニシテ、一部少シモ、其機能ヲ減ズルトモハ、百病之カ爲ニ萌生ス、

第六回 第六回 第六回 第六回 第六回 第六回 第六回 第六回 第六回 第六回

人身若シ無病健康ナラザレバ、永ク造化ノ賜ヲ受クルコトヲ得ズ、故ニ善ク攝養シテ、健康ヲ度幾スベシ、世ニ身體ヲ攝養セシメ、先ツ肺ニ自由ヲ運營ヲ與ヘ、新鮮ノ大氣ヲ吸ハシメ、四體ヲ

適宜ニ運動シ、飲食ヲ節シテ、胃ヲ妄用ス可ラズ、
 身體ヲ適度ニ運動スルハ、血液ヲ調理スルノ良
 法ナリ、血液調理スレハ、筋骨共ニ壯健ニシテ、疾
 病ヲ生ズルコトナシ、凡ソ日用ノ家具ハ、之ヲ用
 キテ多少ノ損傷ヲ爲セドモ、人ノ身體ハ之ト異
 ナリ、使用セガレバ、却テ弊害ヲ生ズ、然レドモ其
 分ニ過ギタル劇作ヲ爲セバ、身體ヲ害スルコト
 アリ、故ニ適宜ノ操作ヲ爲シテ、筋骨ヲ運動シ、又
 時々園庭ニ緩歩シテ、草木ノ青葱ニ對シ、新鮮ノ
 大氣ヲ吸收シテ、神思ヲ爽快ニナスベシ

飲食ハ、人身ヲ滋養スルノ基礎ニシテ、一日モ欠
 タ可ラズ、然レドモ過量ニ貪食スレバ、胃腸ニ滯
 滯シテ、百病ヲ醸ス、又減少ニ過クレバ、身體大ニ
 疲勞シテ強壯ナラズ、故ニ食物ハ其量ヲ定メ、時
 ヲ期シ、食時ノ外、妄ニ喫ス可ラズ、又一時ニ多種
 ヲ雜ヘ食ス可ラズ、
 飲食ヲ節スレバ、精神ノ聰明及ビ知識ノ活潑ヲ
 増進ス、古今、英邁敏達ノ人ハ多ク、飲食ヲ節シテ、
 精神ヲ機能ヲ養ヘリ、
 故ニ飽食貪飲スレバ、昏忘懶惰ノ性ト爲リ、常ニ

飲食ヲ節スレバ、強記博識ノ人トナルベシ。吾人、能ク攝養シテ、無病健康ナルハ、無上ノ幸福ナリ、纔ニ健康ヲ欠クトキハ、随テ百事ヲ缺クノミニアラズ、百般ノ歡樂ニ處ガ爲ニ愉快ナルコトナシ、故ニ人々幼年ヨリ、善ク攝養シテ、老後ノ悔ヲ取ルコト勿レ、總テ不養生ハ、嗜慾ヲ恣ニスルヨリ起ル、人若シ情慾ヲ抑制セズレバ、情慾却テ人ヲ抑制スルニ至ル、譬ヘハ嗜慾ハ、劇病ノ如シ、能ク身體ヲ衰弱セシム、初萌ル時ニ防ガザレバ、忽チ熾盛シテ、人身ヲ驅役スルニ至ル也。ノ大

其第七回、其氣味ハ、其類ノ類ナリ、此類ハ四肢ヲ分チテ七種トナス、第一ヲ四手獸ト云フ、獼猴ノ類ナリ、皆手ハ爪ヲ以テ搔抓攫



攀チ、枝ニ眠ル、猿ハ中ニ禺ト謂フモノ、其尾ニシテ、其端ニ

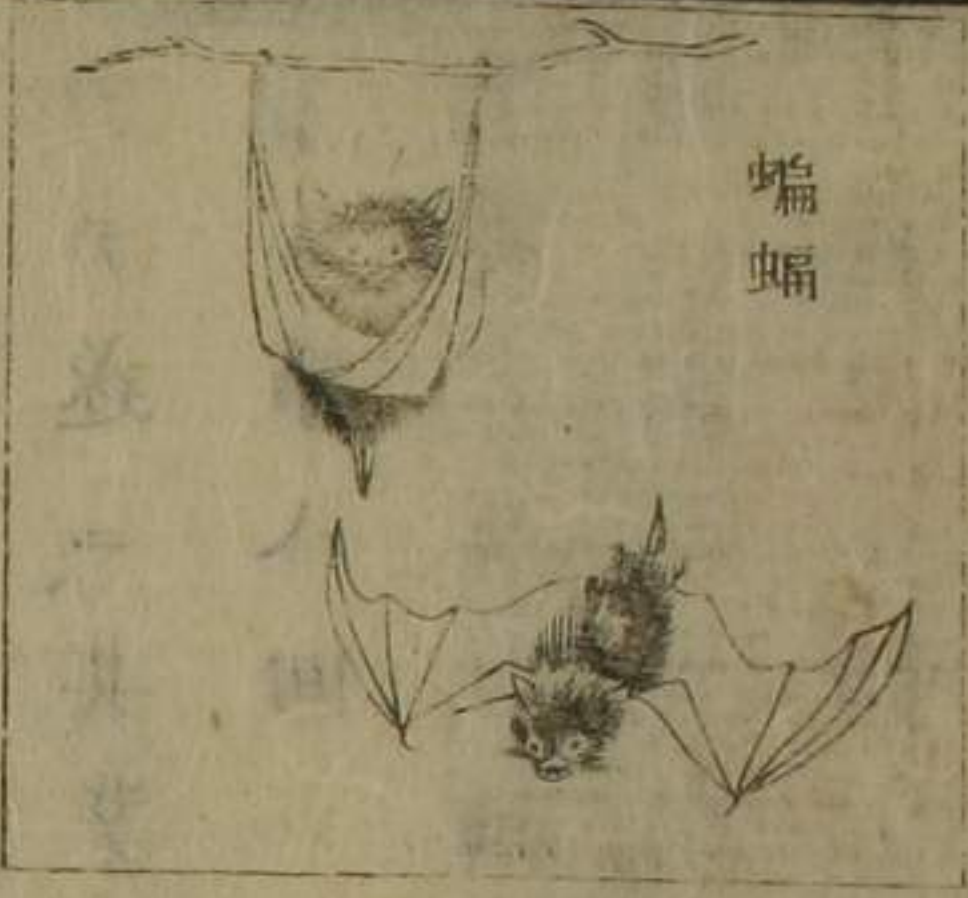
八
八

カアリ、能ク之ヲ以テ、木ヲ捲キ、身ヲ懸ケ、反翮舞
 ス、又尾無ク身長キモノヲ猩ト謂フ、其形狀、殆ト
 人ニ似タリ
 總テ猴ノ類ハ、毛屬中、最モ靈敏ナリ、殊ニ猩ハ、智
 慮アリテ、林中ニ枝葉ヲ集メ、小屋ヲ作り、其中ニ
 棲息シテ、能ク兒ヲ愛育ス
 ○嘗テ一獵夫アリ、山ニ入りテ、會牝猩ノ兒ヲ懷
 キ、食ヲ求ムル途ニ、獵夫身見テ、彷徨躊躇ス、
 其狀哀訴、生ヲ求ムルニ似タリ、獵夫肯セス、小
 銃ヲ以テ、前胸ヲ彈射ス、牝猩創ヲ蒙リ、流血淋

キヨ

滴、其兒ヲ撫シテ哀號シ、忽チ兒ヲ投ケテ、高樹
 ノ上ニ托シ、氣既ニ盡キテ、終ニ斃ル、兒ハ之ヲ
 見テ、樹梢ヲ下リ、母屍ヲ擁シテ、悲哀展轉、具ニ
 痛楚ノ情狀ヲ極メタリ、獵夫之カ爲ニ感動シ
 テ、遂ニ其業ヲ改メシト云ハ、
 第八回
 毛屬ノ第二種ヲ、翅手獸ト謂フ、蝙蝠ノ類ナリ、此
 類ハ、兩手ノ指、延ヒテ翅狀ヲ爲シ、只拇指ノ爪ハ
 ニ出テ、鈎ノ如シ、以テ身ヲ他物ニ懸クルコト
 得ベシ

蝙蝠ノ類ハ、品種甚ダ多クシテ、世界各所ニ有ラ



サルナシ、其小ナルモノハ、鼯鼠ノ大サアリ、大ナルモノニ至テハ、殆ト猫ノ如シ、但寒地ニ産スルモノハ、躰小ニシテ、數モ亦少シ、熱國ニハ、大ナルモノアリテ、種類員數モ、

亦甚ダ多シ、此類多クハ深山ノ岩窟、又ハ大樹ノ朽孔、及ビ古屋ノ側ニ棲ミ、日中ハ潛伏シ、只薄暮ノ時ヨリ、群リ出テ、小羽蟲、或ハ菓實ヲ食、

第九回

毛屬ノ第三種ヲ殺生獸ト謂フ、肉類ヲ食トナス

モノニシテ、小蟲ヲ食スルモノアリ、鼯鼠、鼯鼠ノ

類ナリ、又他人毛屬、或ハ鳥魚ヲ食スルモノアリ、

虎、豹、獅、狼、熊、狐、狗、猫、鼬、貂、水獺ノ類ナリ、鼯鼠ハ土

鼯鼠



中ニ棲息シ、曾テ地上ニ出ツルコトナシ、鼯鼠ハ多ク、田畝ニ棲ミテ、村民ノ害ヲ爲ス。○虎、豹ハ亞細亞洲ニノ三、産シテ、印度諸島ニ彌漫セリ、運動、輕捷劇烈ニシテ、力極メテ、強ク、暴惡

性アリ、虎ハ皆、鮮黄色ニシテ、黒條アリ、豹ハ毛色、虎ニ類シテ、黒キ斑点アリ。○獅ハ、亞弗利加及ヒ、亞細亞ノ南方ニ、産スル大獸ニシテ、其長八尺、高四尺半ニ至ルモノアリ、**且**長鬣アリテ、頸及ヒ肩ヲ被フ。○狼、熊ハ、各地ニアリ、殊ニ熊ハ、寒地ニ産スルモノト多シ、此五種ノ獸ハ、深山ニ棲キ



テ、利里ニ出ヅルコト稀ノリ、皆性勇猛多力ニシテ、他ノ鳥獸ヲ攫殺シ、生食ス、故ニ此等ヲ稱シテ、猛獸ト謂フ。○狐ハ、間々、村里ニ出デ、人家ヲ覗ヒ、兎兒、又ハ、鷄、鶩ヲ捉リテ食ス、性甚ダ狡猾ニシテ、食餌ヲ獲ル爲ニ、頗ル巧慧アリ。○狗、猫ハ、常ニ、人家ニ、畜ハルモノトス、然レドモ、猫ノ山野ニ生長スルモノハ、其性稍虎ニ類シテ、頗ル暴惡ノ氣質アリ、ト謂フ。○鼬ハ、古屋、廢窖ニ棲キ、貂ハ

深山幽谷ニ生長ス、體格畧相類似ス、共ニ火黃色ニシテ、長大ノ尾アリ○水獺ハ水邊ノ樹根又ハ岩窟ニ棲ミ、巧ニ水中ヲ游泳シテ、魚類ヲ攫シ食ス
狗ノ中頗ル伶俐ニシテ、能ク人ニ馴レ、其命ノ分辨シ、兼テ其主ヲ護ルモノアリ
○一商夫アリ、久シク小狗ヲ畜ヒ、能ク愛撫シテ、出行毎ニ必ズ之ヲ携フ、嘗テ馬ニ騎シ、數里ノ遠地ニ行キ、金貨ヲ受ク、之ヲ布囊ニ納メテ齎ラシ歸ル、小狗モ亦隨テ具地ニ行ケリ、家ヲ去

ルコト里許、路傍ニ大樹アリ、商夫馬ヨリ下リ、樹陰ニ憩フコト少時、又騎シテ去ル、時ニ偶齎セル布囊ヲ樹下ニ遺忘セリ、小狗吠號シテ之ヲ主人ニ告知スレドモ、商夫更ニ覺ラズ、叱シテ馳セ去ル、既ニシテ、津頭ニ來リ、輕舸ニ乗ジテ、河ヲ渡ラントス、小狗忽チ馬前ニ旋リ、馬ノ前足ヲ齧ミ、強テ主人ヲ抑留セントス、商夫怒テ謂フニ、此狗狂疾ヲ發セシナラント、直ニ拳銃ヲ執リ、狗ノ腰ヲ彈射シ、河ヲ渡リ去テ、復願ミズ、小狗痛ヲ忍ビ、反轉跛行シテ、漸ク前ノ

樹陰ニ至リ、布囊ヲ守護スルコト良久シ、商夫
 行クコト里許、忽チ布囊ヲ遺忘セルヲ知リ、惶
 忙馳セテ回リ、亦樹陰ニ至ラントス、小狗遙ニ
 之ヲ認メテ、大ニ歡ビ、耳ヲ低レ、尾ヲ動カシ、盤
 踟踟躕トシテ主ノ前ニ來ル、商夫是ニ於テ始
 テ悟ル、先ニ彼ガ號呼シ、又馬足ヲ嚙ミシハ皆
 吾ヲ止懼セントノ意ナリト、馬ヨリ下リ、布囊
 ヲ收拾シ、因テ狗ヲ撫シテ、已カ舉動ノ輕忽ナ
 ルヲ謝ス、狗ハ主人ノ膝ニ倚リ、歡喜ノ一叫シ
 テ、民絶ス、商夫益、痛恨ニ墮ハズシテ、辱ク之ヲ

埋葬セリト謂フ、夫レ畜類ト雖トモ、能ク愛撫
 スレバ、其恩義ヲ思ヒ、死ストモ怨ミサルコト、
 此小狗ノ如キアリ、況ヤ萬物ノ靈タル人類ニ
 於テハ、苟モ德義ニ報ユルノ心ヲ失フ可ラズ、
 殺生獸ノ中ニ、海中ニ棲ミテ、其足、魚翅ノ如ク、能



海豹

海驢

ク水中ヲ游泳シ、魚類ヲ捉リテ
 食スルモノアリ、海豹、海驢ノ類
 ナリ、此類ハ多ク、寒帶ノ海中ニ
 産ス、暗黄色ニシテ皮上ニ、蠶毛
 アリ、多時水中ニ在レトモ、時々

水面ニ浮ヒ、空氣ヲ呼吸スルコト、陸獸ノ如シ

第十回

毛屬ノ第四種ヲ、齧齒獸ト謂フ、其門齒甚ク銳尖ニシテ、器物、竹木ヲ咬齧スルモノナリ、鼠、鼯鼠、兔、栗鼠ノ類是ナリ

鼠ハ、人家ニ棲ム小獸ニシテ、晝間ハ静息シテ、出デス、夜間ハ定テ後所々ノ孔隙ヨリ、跳リ出デ、米粒、豆子或ハ炙繪ノ類ヲ食シ、又ハ之ヲ巢窟ニ輸送ス、毛色大抵淡黒ニシテ、細長ノ尾アリ、四季ニ兒ヲ産ス其數多キヲ以テ、繁殖スルコト甚ク



速カナリ、○鼯鼠ハ其體最モ小

ニシテ、運動、奇捷ナリ、此變種ニ
兔 白色、又ハ斑駁ノモノアリ、人多ク愛育ス、世俗之ヲ南京鼠ト謂フ○兔ハ、原野ニ生長シ、生草、木葉ヲ食フ、又熟兔ト稱スルモノ

アリ體稍小ニシテ其性柔和、毛色種々ノ斑アリテ多クハ美麗ナリ○栗鼠ハ山林ニ棲ミ、樹枝ヲ涉リ、茂樹ノ間ニ巢ヲ營ミ、粟子、菓實ヲ食トス○一栗樹ノ朽孔ニ、巢窟ヲ營メル栗鼠アリ、夫妻

親睦シテ、力行勞食ス、既ニシテ數子ヲ産セリ、皆資性、其父母ニ肖テ、力作ヲ事トシ、長スルニ及ヒ、各一業ヲ管ミ、自立センコトヲ計レリ、獨リ季子性、驕慢放肆ニシテ、頗ル口オアリ、常ニ諸兄ヲ凌蔑シ、父母ノ業ヲ賤ミ、食料ヲ集拾スルコトナシ、父鼠ハ毎ニ其兇横ヲ怒リ、母鼠ハ嗟嘆シテ之ヲ訓戒ス、季鼠ハ曾テ父母ノ言ヲ用キズ、却テ怨謗シ、驕横日ニ甚ダシ、諸兄或ハ之ニ力行ヲ勸ムレハ、乃チ曰ク、燕雀何ソ、鵠鴻ノ志ヲ知ラント、○冬季ノ將ニ至ラントスル

ニ及ヒテ、父母諸兄ハ日々ニ改々トシテ栗樹ヲ上下シ、樹下ヲ奔走シテ、栗子ヲ集ムルト雖トモ、季鼠獨リ家ニ在テ、飽食安卧シ、猶且快々トシテ曰ク、嗟々世人吾ヲ知ラズ、吾安ソ陋室ニ屈居シ、賤小ノ業ヲ爲スベキ者ナランヤ、一旦志ヲ得バ、終身安居ノ計ヲナスベシト、母鼠之ヲ聞キ、父鼠ニ告ケテ曰ク、季子ハ英オノ兒ナリ、後必ス富貴ヲ致サシ、父鼠曰ク、彼常ニ兼食シ、曾テ一粟子ヲ拾フコト無シ、謂フニ懶惰ノ性ニシテ、徒ニ大言スルモノナラシ、母鼠曰

ク吾嘗テ、世人ノ説ヲ聞クニ、彼兒ノ辨論、若年
 ノ者ニ似ス、氣節遙ニ他ノ兒輩ノ右ニ出ヅト、
 是ニ於テ、父鼠少シク、彼ノ英才ナルヲ信セリ
 是ヨリ、季鼠益、驕傲ニシテ、世人ヲ輕侮シ、毎ニ
 曰ク噫、斗筭ノ人、何ソ算フルニ足ラント。一
 日、父母、季鼠ニ向テ曰ク、汝年、既ニ長セリ、宜ク
 職業ヲ營ミ、夙ク富有ヲ致シ、父母ノ心ヲ安ス
 ベシト、季鼠之ヲ了諾シ、是ヨリ日々、近隣ヲ漫
 行スレドモ、未ダ一粟子ヲ得ルコト無シ、是ニ
 於テ、私ニ食料ノ得難キニ苦ム、然レトモ自ラ

屈シテ、其道ヲ學フコトヲ欲セス、遂ニ無頼ノ
 狐兒、又ハ老鼠ト交リ、盜竊ヲ業トナセリ、狐兒
 老鼠ハ、頗ル狡猾ニシテ、陽ニ季鼠ヲ賞賛シ、常
 ニ危險ノ事ヲ役セリ、季鼠之ヲ知ラズ、特ニ已
 カ有能ニ誇レリ。○老鼠、一日、季鼠ヲ禮シテ曰
 ク、我近傍ニ穀倉アリ、穀實、粟子ノ類ヲ貯蓄ス
 ルコト、甚タ多シ、吾前日、倉壁ニ一孔ヲ穿テリ、
 入テ食ヲ出サント欲スレトモ、吾既ニ老イタ
 リ、狐兒ハ、體軀長大ニシテ、出入ニ便ナラズ、願
 クハ、君入テ食ヲ孔側ニ出セ、吾等之ヲ巢窟ニ

輸サシ、然ラハ數日ヲ期シテ、富、巨萬ヲ致スベ
 シト、季鼠大ニ喜ンテ、之ヲ諾ス。○既ニシテ、季
 鼠ノ生産、次第ニ豊饒ス、殊ニ容姿ヲ裝飾シ、意
 氣揚々トシテ、屢家ニ帰り、許多ノ美菓ヲ贈ル
 父母、諸兄ハ其術ヲ知ラス、只驚嘆シテ、其能ニ
 服ス。季鼠益、自負シテ曰ク、世人實ニ蠢愚ト謂
 フベシ、窮年奔走、力行シテ集拾セル食料ハ、僅
 ニ三冬ヲ送ルニ過ギザルノミ、吾カ如キハ然
 ラズ、一旦志ヲ得レハ、終身ノ富安ヲ致スベシ
 ○狐兒、老鼠ハ畜積ト多キヲ計リ、季鼠ニ謂テ

曰ク、我曹食既ニ足ル、復巢窠ヲ輸スコトナシ
 此穀倉ハ專ノ君ニ附ス、倉中ノ食料ハ、總テ君
 ノ有ナリト、季鼠是ヨリ倉中ニ住シ、粟山ノ間
 ニ美屋ヲ營ミ、飽食逸居シテ、白ヲ謂フ、安樂無
 上ナリト、幾モ無ク、二頭ノ獵狗、倉中ニ來リ、季
 鼠ノ巢窟ヲ探リテ、之ヲ捕ヘントス、季鼠大ニ
 驚愕シ、狼狽奔飛シテ、僅ニ壁孔ヨリ出ントス、
 獵狗跳リ來リテ、其尾ヲ齧ム、季鼠力ヲ極メテ
 終ニ逃ル、然レトモ其尾皮剝脫シ、腰股數所ニ
 重傷ヲ負ヒ、體軀醜頽シテ、更ニ前日ノ風姿ト

シ○季鼠ハ漸ク、穀倉ヲ脱シ、跛行シテ、老鼠ノ家ニ至リ、暫ク寄食シ、懇ニ食料ヲ分與セシコトヲ請フ老鼠怒テ曰ク、吾絶エテ汝ニ給與スルノ理ナシ、曩ニ滿倉ノ食料ヲ以テ、汝ニ附ス、汝何ゾ早ク計ヲ爲サバ、今日ノ厄ハ汝ノ自ラ招ク所ナリ、吾何ゾ管セシヤ、季鼠止ムコトヲ得ズ、去テ狐兒ノ家ニ至ル、狐兒亦肯テ顧ミス、肆ニ嘲辱スルノ三、終ニ醜然トシテ、父母ノ家ニ歸リ、懇訴シテ、僅ニ生計ノ得タリト云フ、夫レ少年ノ氣質、驕傲ニシテ、世人ヲ輕視シ、藝

術ヲ修メザル輩ハ、終ニ困窮貧窶シテ、父母兄弟ノ救助ヲ仰グニ、過ヤハルノミ

第十一回

毛屬ノ第五種ヲ多蹄獸ト謂フ、其蹄、二個以上ニ分裂スルモノナリ、又此類ヲ反芻獸ト、厚皮獸トニ區別ス、反芻獸ハ、駱駝、麝、鹿、牛、羊ノ類ナリ、此獸ハ頸下ニ囊アリテ、能ク食物ヲ、茲ニ貯藏シ、絨ウク、再ビ曰ニ反シテ、嚙噬シ、後復腹内ニ咽下ス、其性大率、溫柔ニシテ、枯草、穀實ヲ食ス

駱駝ハ熱帯ノ地ニ産スル大獸ニシテ能ク人ニ馴服シ、輜重ノ負フテ、遠キニ輪ス、且其腹中ニ水囊アリテ、自ラ水ヲ貯畜スルヲ以テ、數日飲ヒザレドモ、渴スルコトナシ、故ニ熱帯ノ地方、殊ニ砂漠中ヲ行クニ、最モ須要ノ獸類ナリ○麝ハ、北地ニ産スル小獸ニシテ、腰間ニ一囊アリ、中ニ香料ヲ貯フ名ツケテ麝香ト云



牛 羊 駱駝 鹿

フ、○鹿ハ、各地ニ産ス、然レドモ北方寒地ニ多シ、其大サ、通常馬ニ亞ク、總テ牡ニハ、堅硬ノ角アリ○牛ハ、多ク人家ニ畜フ、能ク輜重ヲ負ヒ、車ヲ牽キ、又其肉ト、乳汁ハ、人身ヲ養フ、毛屬中、其用最モ廣シ、○羊ハ、山野ニ生長スルモノアリ、又人家ニ畜フモノアリ、其毛ヲ芟リテ、毛布ヲ製ス、厚皮獸ハ、犀、象、猪、家豚ノ類ニシテ、反藪ノ機無シ、亦枯草、穀實、根塊ヲ食トス、犀ハ鼻上ニ堅硬ノ角アリ、猪ハ銳尖ナル牙アリ、共ニ、其性、稍強猛ニシテ、強固ナル厚皮アリ、○象



家豚ハ人家ニ畜ロ、其肉ヲ食用トス、此獸ハ動植汚物ヲ厭ハズ、總テ貪食シ、凡ソ金石ヲ除クノ外食セザルモノナシト云フ

第十二回

ハ亦、熱國ニ産スル大獸ニシテ、性最モ温和ナリ、善ク人ニ服役ス、其頸ハ短大ニシテ伸縮セズ、故ニ前頭ニ大鼻アリ能ク卷縮シテ、提携、取捨自在ナルコト、恰モ人手ノ如シ、○

毛屬ノ第六種ヲ、單蹄獸ト謂フ、其蹄單一ナルモノニシテ、馬、驢馬ノ類ナリ、此類ハ亦多蹄獸ノ如ク、草食ス共ニ、須要ノ家畜ナリ、殊ニ人ヲ乗セテ速ニ走り、或ハ輜重ヲ負フテ、遠キニ輸シ、又車ヲ牽キ、田ヲ耕ス等、其用最モ廣大ニシテ、牛ト共ニ人家ニ缺ク可ラザルノ畜類トス、

第十三回

毛屬ノ第七種ヲ、泳水獸ト謂フ、鯨、海豚、一角ノ類





ナリ、此類ハ皆大海ニ棲ニ、水中ニ游泳スルコト、恰モ魚類ノ如シ、然レドモ、皆空氣ヲ呼吸シテ、身體ヲ養營ス且内部ノ器械ニ至テハ、大ニ魚類ト

異ナリテ、又胎生、温血ナリ、鯨ハ、深ク其兒ヲ愛撫シ、常ニ並行追隨シテ、之ヲ衛護ス、兒若シ捕取セララル、トキハ、悲叫シテ其地ヲ去ラズ、終ニ其身モ捕ヘラル、ニ至ルト云

エ

第十四回

動物ノ能久、其性命ヲ保續シ、身體ヲ養攝スルハ、全ク飲食ノ力ニ賴ルモノトス、體軀ハ、運動、操作ノ爲ニ、諸部ノ皮肉、筋骨隨テ消耗ス、故ニ飲食シテ、其減耗不足ヲ補充シ、隨テ減スレハ、隨テ補ヒ、常ニ新陳代謝シテ、之ヲ保攝ス、故ニ動物體ハ七年ニシテ、皮肉、筋骨總テ一新スト云フ、但精神ト貫習ハ、永ク持久シテ、換替アルコトナシ、獸類ハ、其性質ノ異ナルニ從テ、食料モ、亦各異ナレリ、虎、豹、獅、狼ノ類ハ、運動、劇烈ナル故ニ、筋骨ヲ

勞スルコト甚クキヲ以テ肉類ヲ食トス故ニ其齒牙、銳尖、筋骨、強健ナリ、牛馬ノ類ハ其操作甚ク暴勵ナラザル故ニ、植物ヲ食トス、人類及ヒ此兩種ノ中間ニアルモノハ、其操作、運動モ亦中等ナル故ニ、肉類、植物ヲ併食スベキモノトス

第十五回

有脊獸ノ第二種ヲ鳥類トス、鳥類ハ皆卵生温血ニシテ、全體ニ羽毛アリ、翼ハ即チ前肢ニシテ、飛揚ノ用ヲ爲シ、尾ハ張収自在ニシテ、進行ノ方向ヲ定ム、後肢ハ行立、搔擻ノ用ヲナシ、大約四指アリ

シヨ

リヨ

リテ、三指ハ前ニ向ヒ、一指ハ後ニ向フ、但杜鵑ノ類ハ前後各二指ナリ

鳥ノ嘴ハ手ノ用ヲ爲シテ、能ク食物ヲ拾ヒ、或ヒ之ヲ採リ、又他物ヲ啄破シテ、襲敵ヲ禦ギ、身ヲ護ルコトヲ得ベシ、頭ハ總テ圓尖ニシテ、大氣ヲ開切スルニ便ナラシメ、眼ハ左右ニ在リテ、一齊ニ前面及ビ兩側ヲ視易カラシム
鳥類ハ其形態、食料ト生活ノ模様ニ從テ之ヲ四種ニ區別ス、即チ鷲鳥、鸚鳥、原鳥、水鳥ナリ、

第十六回



鷹鳥ハ鷹、鷂、鴞、角鷹、鷂ノ類ナリ、此類ハ肉食獸ノ如ク、其性大約猛烈ニシテ、亦體軀モ强健ナリ、能ク他ノ小鳥、或ハ小獸、魚類ヲ攫シテ食トス、其嘴ハ鋭ク彎リテ、鉤ノ如ク、足趾強大ナリ、爪モ亦彎リテ、鋭尖ナリ、共ニ物ヲ攫捉、啄裂スルニ便ナラシム

此類ハ、多ク深山ニ棲ニ、岩窟或ハ大木ノ梢ニ巢ヲ營ム

鴞、鷂、角鷹ノ類ハ、視力過敏ナル故ニ、白晝ハ却テ物ヲ見ルコト能ハズ、只薄暮ノ時ヨリ、明瞭ナルコトヲ得ルナリ。○鷂ハ多ク、村里城市ニ棲宿シ小鳥、魚類及ヒ動物ノ死體ヲ食ス

鷹、鷂ノ類ハ、大約勇猛、壯剛ニシテ、能ク強忍力行ノ性アリ

○一老鷹アリ、巢ヲ喬木上ニ結シテ、雛ヲ育ヒ、常ニ十餘里ノ遠キニ行キ、食ヲ滄海上ニ求ム、一日天氣晴和ナリ、鷂ハ一大魚ヲ攫シテ還ル、適樹下ニ數人アリ、遙ニ之ヲ見テ、石ヲ投シ、樹ヲ

撼シ、百方之ヲ窘ム、鷺遂ニ魚ヲ放下シテ、地ニ
落ス、衆之ヲ奪テ去レリ、中ニ一少年アリ、獨リ
留リテ潜ニ鷺ノ舉動ヲ視ルニ、鷺ハ樹ヲ四翔
スルコト數次ニシテ、巢邊ニ屹立ス、群雛ハ母
ノ歸ルヲ見テ食ヲ求メ叫呼ス、鷺ハ頭ヲ俯シ
テ巢ニ臨ム、其狀群雛ヲ慰スルモノニ似タリ、
群雛益悲鳴ス、鷺惘々タルコト良久シ、忽チ憂
鳴一聲、翼ヲ奮テ去ル、既ニシテ又一大魚ヲ攫
シ來レリ、其飛ゴコト甚ダ低ク、翼ヲ鼓スルコ
ト遲漫ニシテ氣力殆ト盡クル者、如ク漸ク

近クキ及ビテ、回翔數次、樹下ヲ瞰視スルニ復
一人ナシ、終ニ巢中ニ入りテ、食ヲ群雛ニ分テ
リ、○少年之ヲ見テ大ニ感動シ、覺エズ、大喝
テ曰ク、嗟々何ゾ汝ノ勇壯ナルヤ、吾衆鳥ヲ觀
ルニ其能ク高翔シ、巧囀スルコト、曩ニ汝ノ右
ニ出ツルモノ多シ、然レドモ未ダ堅忍不拔、汝
ガ如キモノヲ見ズ、汝既ニ害ニ遭ヒ、又食ヲ奪
ハレ、體疲レ神倦ムト雖モ、志氣凜然トシテ、未
ダ少モ挫折セズ、再ヒ險ヲ犯シ、食ヲ獲テ還ル
嗟々何ゾ汝ノ勇壯ナルヤ、若シ衆鳥ヲシテ、此

危難ニ遭ハシメバ徒ニ世人ノ残忍ヲ憂ヒ、群
 雛ノ飢餓ヲ歎シテ、自ラ悲ムニ過ギザルルニ
 獨リ汝ハ然ラズ、矚勉力行シテ直ニ失ヘルヲ
 償還シ、瞬時ニ憂慮ヲ掃却セリ、夫レ名將ハ一
 敗ヲ以テ弓ヲ弛ベズ、良賈ハ折閱ノ爲ニ市ヲ
 止メズト、實ニ汝ノ類ナリ、吾モ亦汝ガ忍耐ノ
 行ヲ法ト爲シ、志操ヲ高尚ニシ、身ヲ立テ道ヲ
 行ヒ、竟ニ勇氣ヲ失セザランコトヲ期センノ
 事トシ

第十七回

カス

轉鳥ハ其種類、大小極メテ多シ、皆林間ニ集リ、枝
 上ニ眠ル、故ニ又、棲枝鳥ト名ツク、其形狀、毛色多
 クハ、美麗ニシテ、愛スヘク、又其轉色ハ、巧ニ歌吹
 ノ音調ヲ發シ、人心ヲ歡娛セシム、此類ハ、總テ能
 ク飛翔スルノ力ヲ備ヘ、大抵小蟲、或ハ植物ノ實
 ヲ食トス

相思鵲、巧婦鳥、百舌、鶯ノ類ハ其轉色最モ清艶ニ
 シテ、他鳥ニ超絶ス、特ニ鶯、相思鵲ノ如キハ、衆人
 ニ賞愛セララル、百舌ハ、巧ニ衆鳥ノ色ヲ擬似シテ、
 他ヲ欺キ來タスコトアリ



燕ハ、性温暖ノ地ヲ好ミ、春分ノ候ヨリ、我邦ニ來リ、人家ニ寄リテ、巢ヲ營ミ、雛ヲ養ヒ、秋分ノ候ニ至リ、去テ、南方熱帶ノ地ニ往ク

此他鳥、ヒエトリ、鶯、鶻、雲雀、雀、鶺鴒等、皆囀鳥ノ類ナリ、故ニ鳥族中、其品種最モ多シ
○其家ノ庭前ニ、櫻樹ノ枝葉甚々繁茂シテ、巧婦鳥ノ巢ヲ、其上ニ結ヒ、三雛ヲ御スルアリ、其家ノ三兒、相約シテ、各一雛ヲ、己カ所有ト爲シ、第

三兒ノ得ルモノヲ、幸雛ト名ツク、第三兒ハ、平生强悍ニシテ、性急ナリ、雛ノ生長遅キノ忿リ、一日將ニ樹ニ上リ、雛ヲ采テ、自ヲ育ハントス、諸兄曰ク、雛ハ雌雄ノ覆翼ニ非レハ、生育スルコトナシ、汝カ所爲ハ、却テ之ヲ害スルナリト、乃チ止ム、○既ニシテ、群雛漸ク長ス、就中幸雛ハ、較肥大ニシテ、力強ク、常ニ諸雛ヲ凌キ、巢中騷然クリ、幸雛一日、母鳥ニ謂テ曰ク、兒漸ク此巢ノ狭小ニ苦ム、願クハ、兒ニ飛ブコトヲ教ヘ、ヨ、雌之ヲ諭シテ、曰ク、汝カ羽翼、畧具ハルト雖

トモ未ダ強固ナラス、尚數口ヲ待矣、教ヘシ中、
 雄鳥モ亦曰ク、汝尚稚ナリ、宜ク柔順ニシテ、母
 ノ教ニ隨ヒ、翼ノ長ズルヲ待ツベシ、ト季雛嘆
 シテ曰ク、父母既ニ老イ憂慮ニ過ク、縱令ヒ父
 母、吾ニ飛ブコトヲ教ヘザルモ、吾能ク自ラ飛
 バンノミ、安ゾ鬱々トシテ、久シク、此間ニ局促
 スベキヤ、吾彼ノ燕子ヲ見ルニ、翻飛上下シテ、
 自在ノ態アリ、是吾志ナリト、諸雛聞テ傍ヨリ、
 之ヲ責ム、季雛曰ク、諸兄何ヲカ知ラン、啁喋多
 言スルコト勿レ、○一日季雛ハ、巢端ニ出テ、將

ニ飛ビ去ラシトス、雌雄驚テ曰ク、阿兒、何ヲカ
 爲スヤ、宜ク巢中ニ下リテ、静息スベシ、季雛曰
 ク、兒既ニ長シテ、巢ノ狭キニ苦ム、且吾世上ヲ
 觀ルコトヲ好ム、世間ノ廣キ美麗ニシテ、喜ブ
 ベキモノ多シ、那處ニ、美目眇然トシテ、愛スベ
 キモノアリ、日ニ樹下ニ來テ、兒ト戯リ、ンコト
 ヲ求ムト、雌雄色ヲ變シテ曰ク、彼ハ猫兒ト呼
 做スモノナリ、實ニ我曹ノ大敵ナリ、形狀毛色
 愛スベク、甘言溫柔ニ似タリト、雖トモ、之ニ就
 ケハ利齒鋭爪ニシテ、畏ルベキノ惡鬼ナリト、

雛ハ之ヲ聞テ、色ヲ失ヒ、戰慄シテ、巢中ニ屏息
 ス、獨リ奉雛ハ、之ヲ信セズ、竊ニ曰ク、吾旣ニ長
 ス、何ゾ是等ノ妄誕ヲ信ス可ケン、兒且、自ラ信
 スル所ヲ以テ、父母ニ示サント、○翌旦、雌雛ハ
 巢ヲ出テ、飛行ス、季雛復巢端ニ立テ、四顧
 スレバ、那ノ美目的、綏歩樹下ニ來リ、甘聲シテ
 曰ク、季雛、來レ、共ニ戯レ、ト、季雛遂ニ巢ヨリ
 下ラントス、諸雛之ヲ留メテ曰ク、子、彼ニ接ス
 ルコト勿レ、彼ハ子ヲ誘惑シテ、終ニ己ノ腹ニ
 充テントスルガリ、季雛曰ク、縱令ヒ吾死スト

毛悔ナシ、且彼美貌ニシテ愛スベキ、取テ禍心
 ヲ懷クモノニアラス、○猫兒ハ、復巢ヲ仰視シ、
 百方巧ヲ呈シテ、雛ヲ誘フ、季雛曰ク、彼ノ四肢
 雪白、柔軟ナルコト、恰モ剪紙ノ如シ、吾且彼ノ
 鉤爪アルヲ信セズト、忽チ躍テ樹下ニ投ズ、猫
 兒直ニ之ヲ啣テ、走リ去ル、季雛ハ利齒ニ齧著
 セラレ、痛楚ニ堪ヘズ、噉々ト泣號ス、第三兒會
 之ヲ見テ、急ニ馳セテ、猫兒ヲ捕捉シ、以テ季雛
 ヲ放下セシム、季雛是ニ於テ、僅ニ虎口ヲ免レ
 復巢ニ歸ルコトヲ得ルト雖トモ、羽毛剝脱ス

ルコト多ク、且隻翼ヲ挫傷シ、大ニ疲勞セリ、居
 リユト數日、群雛ハ飛ヲコトヲ知り、日々四邊
 三周飛スレトモ、李維ハ獨リ、其翼ヲ傷スルヲ
 以テ、竟ニ出ツルコト能ハズ、快々トシテ巢中
 ニ伏セリ、弟三兒深ク之ヲ憐ミ、爲ニ籠ヲ作
 之ヲ養フ、李維既ニ三兒ノ養護ヲ得テ、自ヲ慰
 愉ス、ト雖トモ、血氣ニ任シテ、適奇禍ヲ致シ、終
 ニ不具ノ身體ニ一生ヲ了セシユトヲ以テ、深
 ク自ヲ悔ユト云フ。○是ニ於テ、此家ノ母、乃チ
 三兒ニ諭シテ曰ク、凡ソ童子タルモハ、宜ク

李維ニ鑒ルベシ、人ノ年猶少ナルトキ、夙ク其
 迹ヲ發スルヲ願フハ、猶彼ノ李維ノ早ク飛フ
 コトヲ學バンコト欲スルガ如シ、世間亦一ノ魔
 鬼アリ、其手足ノ雪白柔軟ナルコト、恰モ剪絨
 ノ如ク、眼波嬋娟トシテ、一笑百美巧ニ人ヲ眩
 惑ス、常ニ來テ、共ニ戲嬉センコトヲ請フ、人一
 タヒ誤テ、此鬼ニ交接スレバ、形影離レズ、能ク
 人ヲ凡百不良ノ境ニ沈溺セシム、是ニ於テ、數
 頭ノ惡鬼、陸續トシテ來リ、遂ニ少年ノ人ヲ、簾
 弄スルコト、恰モ猫兒ノ、雛ヲ啣ヒシテ去ルカ

如シ、人既ニ彼ノ爲ニ誘去セラル、久シクシテ
身體漸ク疲弊シ、衣服頗ル破壊スルニ及ビテ
ハ惡鬼亦肯テ顧ミズ、是ニ至テ殆ト零落沈没
シテ、其生ヲ營ハコト能ハス、悲力大夫レ人ノ
少年ナルトキハ、事々父母ノ命ヲ奉シ謹テ已
ノ意ニ任スルコト勿レ、若シ或ハ情慾ノ起ル
コトアレバ、即チ魔鬼ノ來テ、吾ニ戯テ挑ムナ
リト思フベシ、此鬼ノ爪牙ハ其銳利ナルコト、
猫兒ヨリモ其ダシ、一タヒ其攫捉ヲ被ラハ、終
身不具ノ人トナリテ、又發迹スルコトナシ、其

杜鵑 慈悲心鳥



啄木鳥

如キハ、樹皮ノ間ニ生ズル細蟲ヲ食トス

第十八回

原鳥ハ、原野ニ棲息シ、或ハ人家ニ畜養セララル、多
クハ、植物ノ實ヲ食シ、又小蟲ヲ啄ス、鷄、孔雀、雉、百
露、鷓鴣、鳩ノ類ナリ、此等ハ輕飛スルコト能ハズ、

嘲鳥ノ中ニ、綠水鳥ト名ツクル

モノアリ、杜鵑、啄木鳥、慈悲心鳥
ノ類ナリ、此類ハ前後各二指ニ
シテ、能ク樹身ニ縁リ、攀躋上下
自在ナリ、皆小蟲ヲ食ス、啄木鳥



多クハ歩行ス、故ニ又歩行鳥
ト云フ。百露鷄及孔雀ハ、人
家ノ畜養ニ賴テ雛ヲ生育ス
○雉ハ山林原野ニ生長スル
ヲ常ニス。○鳩ハ園林ニ棲居シ、鳩ハ屋廡ニ寄托
シテ僅ニ巢ヲ營ム、此類ハ其巢ヲ營ムコト衆鳥
中、尤モ拙ナリトス
○鳩ノ始テ此世ニ生ゼシトハ、衆鳥來會シテ營
巢ノ術ヲ教ヘタリ、○啄水鳥曰ク、汝若シ林木

中ニ棲息スルコトヲ欲セハ、吾汝ガ爲ニ大樹
ノ朽孔ヲ索メシ、砂燕子曰ク、朽孔ハ狹窄ニシ
テ、氣ヲ通ゼズ、巢ヲ營ムハ、洲渚ヨリ善キハ無
シ、大雨ノ患アリト云トモ、吾未ダ大雨ノ爲ニ
我巢ヲ漂ハサルコトアラズ、庶燕子曰ク、洲
渚ハ、甚ダ危シ、吾ハ常ニ爽快ナル屋廡ヲ擇ミ
テ、馬尾、石衣等ヲ泥ニ和シ、巢ヲ造ルニ、甚ダ強
固ニシテ、破碎ノ患ナク、又局窄ナラズ、且風雨
ニ漂搖スルノ憂ナシ、汝宜ク我法ニ從テ巢ヲ
營ムベシト、鳩ハ固ヨリ姿容ニ美ニシテ頗ル

禮節ヲ知ルト雖トモ、其素性、自高ノ風アルヲ以テ敢テ他ノ教誨ヲ受クルヲ欲セズ、衆鳥ニ答ヘテ曰ク、僕誠ニ諸君ノ好意ヲ多謝ス、然レトモ、僕自ラ營巢ノ術ヲ知ル、敢テ諸君ヲ煩ハサズト、衆鳥皆鶻ノ以テ、説ク可ラザルヲ知リ、終ニ之ヲ棄テ、四散セリ、○是ニ於テ、鶻ハ林中ニ入りテ、朽孔ヲ索ムルニ、皆窄小ニシテ、身ヲ容ル、ニ足ラズ、去テ泥巢ヲ營ムニ、牢固ナルコト能ハズシテ、屢破壊ヒリ、乃チ砂燕ノ法ニ倣ハント欲シ、洲渚ニ往キテ、砂ヲ掘レハ將

ニ砂中ニ生理セラレントス、鶻ハ此ノ如ク營巢ノ難キニ、究スレドモ、尚傲慢ノ性ノ變ズルコト無ク、肯テ自屈シテ、助ヲ他禽ニ求メズ、遂ニ洲ヲ去テ、穀倉ノ傍ニ來リ、茫然トシテ、爲ム所ナシ、人アリ之ヲ憐ミテ、一水匣ヲ與フ、鶻乃チ此ニ棲居シ、始テ數顆ノ卵ヲ下セリト云フ○嗟乎衆禽ハ、各適意ノ巢ヲ營ミ、飛翔、棲窟皆自ラ娛マザルハ無シ、獨リ鶻ハ人家ニ寄礼シ、局促セル小匣中ニ居リ、僅ニ藁屑ヲ齎トシ、曾テ適意ノ娛樂ヲ得ルコト無ク、又自由ノ態ヲ

肆ニスルコト能ハザルモノハ何ゾヤ、抑亦其
 性、驕慢ニシテ、他ノ教誨ヲ受フルヲ好マザル
 ニ由ル、夫レ人世ニ在テ、生涯ヲ陋室ノ中ニ送
 リ、他人ノ救助ニ頼テ、僅ニ生計ヲ營ミ、絶エテ
 自由ノ態ヲ得ザルモノハ、此鴿ニ異ナルコト
 ナシ、故ニ人々切ヨリ、能ク自ラ屈シテ、師傅ノ
 教誨ヲ受ケ、朋友ノ忠告ニ從ヒ、敢テ傲慢ノ氣
 ヲ、縦ニスルコト勿レ
 原鳥ノ屬ニ、駝鳥アリ、熱帯ノ地ニ生長ス、其翼短
 小ニシテ、飛揚スルコト能ハズ、脚ハ長大強健ニ

駝鳥



第十九回

シテ常ニ走行ス、其速カナルコト、奔馬ニ及ブ、故
 ニ走行鳥ト云フ、此鳥ハ巢ヲ
 營マズ、雖ヲ育ハズ、卵ヲ砂中
 ニ匿シ、太陽ノ熱ニ因テ、糊化
 ス、雖ハ生ズルヨリ、直ニ行走
 シ、自ラ食ヲ求メテ生長ス
 水鳥ヲ小別シテ、游水鳥、涉水鳥ノ二種トナス
 游水鳥ハ、水上ニ浮游シ、或ハ水ニ入り、魚類ヲ捉
 リテ食ス、雁、鶩、鴨、鷺、鴛鴦、鷓鴣ノ類ナリ、其嘴ハ扁

大ニシテ邊縁ニ鋸齒アリ、脚ハ短クシテ、趾間ニ蹼アリ、游泳ニ便ニス
雁、鴨、鴛鴦ノ類ハ、時令ニ從テ住所ヲ異ニス、冬ハ南方ニ遊ヒ、夏ハ北地ニ還ル、其間數百千里ヲ踰エ寒温適度ノ地ヲ占メテ、游泳ス、蓋シ自然ノ理ニ出ツルト雖モ、亦最モ自由ノ態ヲ肆ニスルモノト謂フベシ
鶩、鷓鴣、鶩ノ類ハ、遠地ニ遊グコト無シ、殊ニ鶩、鶩



人家ニ畜ハル、ノ常トス、其翼ハ、雁鴨ニ比スルニ短小ナルヲ以テ、飛翔スルコト能ハス
涉水鳥ハ、渚汀、淺水ノ地ニ遊ビ、小魚、又ハ水蟲ヲ掘リテ食フ、鶩、鶩、鶩ノ類ナリ、其頸、嘴共ニ長クシテ、水中ニ在ル食料ヲ啄スルニ宜ク、又脚ノ細長ニシテ、淺水ヲ渉ルニ便ナリ
第二十回
動物ハ至大ノモノヨリ、至小ノモノニ至ルマデ、



八景書水
三番
品美書

智愚同シカラズ、強弱等ヲ異ニス。ト雖下モ、其自
 ラ飲食シ、身ヲ養ヒ、種ヲ貽シ、生ヲ樂ミ、死ヲ惡ム
 ノ性ハ、自然ノ天稟ニシテ、教ヘサレドモ皆自ラ
 能クスルモノナリ、又食料ヲ求ムルノ術ト、巢窠
 ヲ營ムノ智巧ト至テハ、學バズシテ能ク其道ニ
 通ス。且夫レ鳥ノ巢ヲ營ミテ、卵ヲ孵シ、飛シ、羽
 翼ヲ以テシ、羽毛アリテ、寒ヲ禦キ、嘴爪アリテ、攫
 拏スベク、虎狼ハ肉食スル故ニ、鋏牙利爪アリ、象
 ハ、俯伏シ難キヲ以テ、其鼻ハ手ノ用ヲ爲ス、其他
 角ナケレハ、牙ナリ、牙無クレハ、爪アリ、以テ身ヲ

護リ、敵ヲ防キ、食料ヲ求ムルニ方テ、一モ具セザ
 ル所ナシ、然レトモ、一旦力行勉勵シテ、終身ノ計
 ヲ爲スヲ知ラズ、但人ハ生ナガラ、被服爪牙ノ利
 ナシ、家屋ヲ營マザレバ、身ヲ容ル、コト能ハズ、
 衣履無ケレハ、體軀ヲ温ムルヲ得ズ、力行セザレ
 ハ、食ヲ得ルコト無シ、此ニ由テ活潑靈敏ノ精神
 アリ、少年ノ時ニ方リ、甞勉刻苦シテ、學術ノ研究
 シ、理財ノ道ヲ修ムレハ、終身安然トシテ、坐食ス
 ルコトヲ得ベシ、是萬物ノ上ニ位スル所以ニシ
 テ、又智慮ヲ研ク可キノ理ナリ、若シ夜々奔走シ

テ、窮年ノ力作、僅ニ其時ヲ送ルニ過ギザル輩ハ、
 獸類ノ等級ヲ同クスルモ、知ルベシ
 此他有脊類ハ、魚類ナリ、匍匐蟲ハ、龜屬
 鱷屬、蛇屬、蛙屬、ハ、四種ナリ、大納次卷ニ於テ無脊
 類ト共ニ說示スヘシ、○毛屬ノ中、猶他ノ種類
 アリ、有袋獸、無齒獸、ノ類ナリ、後卷ニ示スベシ

小學讀本卷五終

明治八年六月十五日出版
 明治八年十一月十五日版權免許

定價金拾錢

東京麻布新網町二丁目廿四番地

田中義廉 編輯并藏版

甲府常盤町 内藤傳右衛門

發兌書肆

東京本町三丁目	金港堂
同 日本橋通三丁目	小林新兵衛
同 通り油町	水野慶次郎
同 芝三島町	山中市兵衛
同 小石川大門町	青山清吉
同 神田通新石町	同 出店
同 南銅町一丁目	文會舎

